

2020年9月7日
株式会社東陽テクニカ

エリクソン・ジャパンから 5G 検証システム「Spirent Landslide」を受注 ～クラウドネイティブ 5G コアの性能・機能試験で利用～

株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝)はエリクソン・ジャパン株式会社(以下エリクソン)より、5G(第5世代移動通信システム) SA^{※1} ネットワーク用のクラウドネイティブ 5G コア^{※2} 検証用システムとして、Spirent Communications Inc.(本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下 Spirent 社)製のモバイルコアノード・パフォーマンススタスタ&アクティブモニタ「Spirent Landslide」を2020年7月に受注したことをお知らせいたします。

※1 Standalone 方式。4G(LTE)の設備を使用せず、5G ネットワークのみで 5G 通信を行う技術

※2 クラウド環境下でコンテナやマイクロサービスを用いて最適化された 5G コアシステム



「Spirent Landslide」シリーズ

【背景・用途】

エリクソンは国内大手通信事業者に対して 5G SA ネットワーク用のクラウドネイティブ 5G コアを提供することを決定しています。5G ネットワークの性能と品質を担保するためには 5G における新技術全般をサポートし、かつ、過負荷・輻輳などのさまざまな状況における 5G コアノードの処理能力をはじめとした各種的確な試験が欠かせません。そこで性能試験、機能試験を実施する検証システムとして両者に対応可能な Spirent 社の「Spirent Landslide」が採用されました。東陽テクニカは Spirent 社の国内代理店として「Spirent Landslide」の納入と、納入後の技術サポートを通じて 5G SA ネットワークの普及に貢献してまいります。

【Spirent 社 ビジネス ディベロップメント スペシャリスト 竹村 雅之氏のコメント】

今回、エリクソン様のクラウドネイティブ 5G SA 案件を「Spirent Landslide」で支援させていただくことができ、すことを大変嬉しく思います。世界中のモバイルネットワークオペレータ、機器ベンダー様に採用いただいている「Spirent Landslide」で事前の検証を十分に実施いただき、スムーズな 5G SA サービスのスタートに向けて全力でエリクソン様をサポートさせていただきます。

【「Spirent Landslide」の主な特長】

「Spirent Landslide」は、モバイルコアネットワーク向けのパフォーマンススタ/エミュレータ/アクティブモニタです。5G 端末、基地局、各種モバイルコアノードを擬似することができ、試験対象にシグナリング^{※3}の負荷とデータトラフィック^{※4}の負荷を印加することで 5G インフラストラクチャのキャパシティ性能評価、過負荷・輻輳状態での動作確認、商用環境の再現試験が可能です。さらにアクティブモニタリング機能^{※5}により、ネットワーク内のモバイルコアノードに直接通信してノードの死活監視、ネットワーク品質評価、障害箇所の特定をすることができます。

本製品により、5G インフラストラクチャの正確な性能評価が可能となり、サービスインに要するリードタイムを短縮できます。加えてアクティブモニタリング機能により、5G ネットワークの可視化、障害の予兆検知、ダウンタイムの最小化、オペレーション業務の効率化に寄与します。

※3 モバイル端末が基地局、モバイルコアネットワークと通信を行うための制御信号

※4 モバイル端末が送受信するインターネット、メール、アプリなどの通信データ

※5 装置からテストパケットを送受信することで、疎通確認、通信経路特定、レスポンス時間測定、通信経路上の遅延やパケットロスなどの情報を収集し、障害の事前検知や通信性能・品質の評価に用いるネットワークモニタリング機能

<主な試験/エミュレーション対象>

- ・5G NSA
- ・5G SA(AMF、SMF、UPF、PCF、UDM、AUSF など)
- ・LTE EPC ノード(MME、SGW、PGW、PCRF、HSS)
- ・IMS、WiMAX、GPRS、UMTS
- ・Wi-Fi オフロードゲートウェイ(CAPWAP/DTLS、IPsec)/Wi-Fi AP
- ・課金/認証サーバ(RADIUS、Diameter、EIR、OCS/OFCS、CGF)
- ・セキュリティゲートウェイ(IKEv1/IKEv2)/DPI 装置/DRA/DEA

<Spirent Communications Inc.について>

Spirent Communications Inc.は、アメリカ・カリフォルニア州サンノゼに本社を構える測定器メーカーです。IT・通信業で用いられる最新の技術、インフラストラクチャ、アプリケーションを評価するための先進的な測定器、測定手法を開発・提供しています。そのソリューションは研究開発ラボおよび通信事業者、通信機器メーカー、企業の IT 部門など全世界で幅広く使用され、業界のリーディングカンパニーとして長年にわたり通信事業の品質向上に貢献しています。同社のソリューションによって、400G イーサネット、5G、LTE、無線 LAN、衛星通信、NFV、クラウド、IoT、M2M、ネットワークセキュリティなど、IT・通信に関わるあらゆる観点での性能・品質確認が可能になります。東陽テクニカは同社の日本国内における代理店です。

Spirent Communications Inc. Web サイト : <https://www.spirent.com/>

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは 1953 年の創立以来、世界最先端の計測機器の輸入販売を行ってきました。現在の事業分野は、情報通信、自動車、エネルギー、EMC(電磁環境両立性)、海洋、ソフトウェア開発、ライフサイエンスなど多岐にわたり、独自の計測技術を搭載した自社製品の開発にも力を入れ、国内外へ事業を拡大しています。「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、5G(第 5 世代移動通信システム)の普及や自動運転車開発なども支える最新ソリューションを提供することで、安全で環境にやさしい社会づくりと産業界の発展に貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト : <https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 情報通信システムソリューション部

TEL : 03-3245-1250(直通)

E-mail : ict_contact@toyo.co.jp

「Spirent Landslide」製品ページ : <https://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/landslide.html>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。